

## 平和に関する「知の拠点」に係る展示の概要

### 1 展示コンセプト

- かつて学都広島を中心的な教育の場であった広島大学等の歴史や被爆建物である同大学旧理学部1号館を中心に被爆の実相を伝える。
- 医学、科学的な見地から被爆の実相を伝える。
- 一般社団法人ヒロシマ平和研究教育機構（以下「機構」という。）が有するナレッジやノウハウを活用するなど、学術的な見地から平和に関する知の継承を図る。
- 平和に関する芸術作品や本市を始めとする様々な主体が実施する平和の取組等の展示を通じ、平和を希求する「ヒロシマの心」の共有を図る。

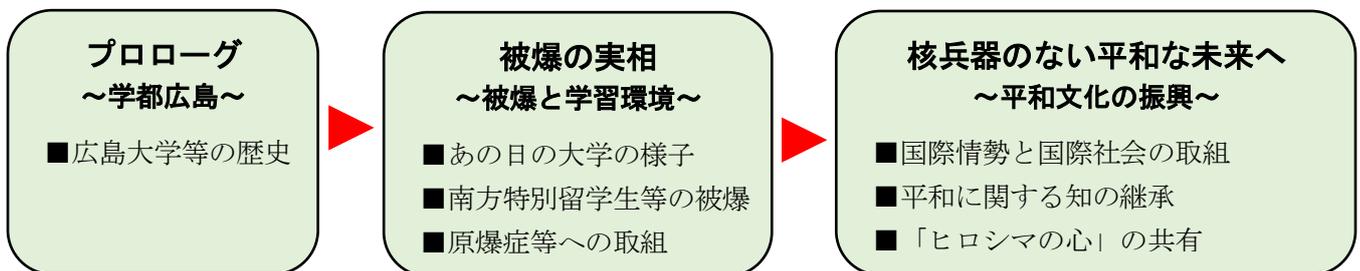
### 2 展示のターゲット層

原則、こども（おおむね小学校高学年）から大人までの幅広い年齢層を対象とし、機構の有する高度な知見や専門性をいかした展示など一部の展示については高校生以上の者や研究者を対象とする。

### 3 展示構成等

展示構成等については、以下のとおり。

なお、展示については、常設展示を基本とし、必要に応じて、各コーナーの展示資料の入替えを行う。



#### (1) プロローグ ~学都広島~

展示の入口として、かつて学都広島を中心的な教育の場であった広島大学等の歴史を伝える。

#### 《展示テーマの概要》

展示テーマ	概要
広島大学等の歴史	広島大学の沿革や広島大学旧理学部1号館（当時の広島文理科大学校舎）を始めとする広島大学の建物に関する展示を行い、学都として発展した広島の歴史を伝える。

#### (2) 被爆の実相 ~被爆と学習環境~

広島大学旧理学部1号館（当時の広島文理科大学校舎）等の被爆後の状況に関する展示や、南方特別留学生等の被爆に関する展示、広島大学がこれまで行ってきた原爆症への取組に焦点を当てた医学・科学的見地から学ぶことのできる展示により、教育・研究の視点から被爆の実相を伝える。

《展示テーマの概要》

展示テーマ	概要
あの日の大学の様子	広島大学旧理学部1号館（当時の広島文理科大学校舎）を中心に複数ある広島大学前身校の被爆後の状況に関する展示を行い、原爆によって教育・研究といった学びの環境が一瞬にして奪われたことを伝える。
南方特別留学生等の被爆	南方特別留学生を中心に広島文理科大学で学んでいた外国人留学生の当時の留学生活や被爆の状況に関する展示を行い、海外からの留学生も原爆の犠牲になったことを伝える。
原爆症等への取組	広島大学（大学病院や医学部、原爆放射線医科学研究所等）がこれまで行ってきた原爆症への取組や原爆に関連する研究・運動に関する展示を行い、医学的な見地等から原爆被害の凄惨さを伝える。

(3) 核兵器のない平和な未来へ ～平和文化の振興～

国際情勢や核兵器廃絶に向けた国際社会の取組を紹介する展示や、機構による平和研究の成果など平和に関する知の継承に資する展示、本市や市民、未来を担う若者等による平和を希求する「ヒロシマの心」の共有に資する取組を紹介する展示により、平和意識を醸成し、「平和文化の振興」を図る。

《展示テーマの概要》

展示テーマ	概要
国際情勢と国際社会の取組	国際情勢を踏まえた核兵器の危険性や核兵器廃絶に向けた国際社会の取組などに関する展示を行い、核兵器の使用が人類の破滅をもたらすという核兵器の危険性に係る基本認識を深めることにより、核兵器廃絶に向けた議論の活発化につなげる。
平和に関する知の継承	機構による平和研究の成果や本市が実施する平和学習・平和教育、若い世代への被爆体験の継承などに関する展示を行い、原爆・戦争の恐ろしさや平和の尊さ等を伝える。
「ヒロシマの心」の共有	本市を始めとした様々な主体による平和への取組や芸術を通じた平和の推進などに関する展示を行い、来訪者一人一人に自分たちが平和のためにできることを考えてもらう。

(4) 展示と連携した取組

上記展示を通して被爆の実相や「ヒロシマの心」に触れた後においても、平和とは何かを考え、平和への思いを共有してもらうための仕掛けとして、ピースツーリズムのルートマップ（宇品陸軍糧秣支廠、広島陸軍被服支廠など）や「平和の道」、ウォークアブルなまちなかの形成に資する「ひろしま都心回廊づくり」等を紹介するなど、平和関連施設等への回遊を促進するための情報提供を行う場を設置する。

なお、情報提供を行う場については、展示室や平和学習活動室、休憩場・ラウンジなど情報提供に効果的な場所への設置を検討する。

#### 4 展示手法

図や写真、絵を用いたグラフィックパネルや、映像、現物資料、模型など展示テーマに応じた効果的な演出や、より多くの情報を発信することができる展示手法とする。

#### 5 展示のゾーニング及び観覧動線等

施設の正面玄関（森戸道路側にある旧棟側の玄関）を起点として、展示構成や展示テーマに応じた効果的なゾーニング及び回遊性の高い観覧動線の設定を行う。

その際、展示室での展示を基本としつつ、将来的に玄関ホールや休憩場・ラウンジ、1階ロビーの一部も展示空間として活用することも想定してゾーニング及び観覧動線の設定を行う。

また、施設の正面玄関からの入館者はもとより、北側玄関からの入館者にも施設誘導が適切に行われるよう施設サインの充実を図る。

#### 6 事業スケジュール

事業スケジュールは以下のとおりとし、令和12年度の施設の供用開始に向け、令和11年度中の完成を目指す。

区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
施設整備 業務	プロボ	基本設計	実施設計	発注準備	整備工事	
展示業務	展示方針	発注準備	基本・実施設計	展示資料の収集など展示準備		発注準備
						整備工事